

# 10月号 香春町協力隊だより



## ～香春町 × 「野草王子」 草木染めの手ぬぐい～

野草研究家で「ハーブ(野草)王子」の山下智道<sup>ともみち</sup>さんを招き、草木染めのイベントを9月18日に行いました。野草を煮出して作った染料に手ぬぐいを漬け込み、自然な淡い色に仕上がりました。染まるのを待つ間には、毎回恒例となった野草散策を行いました。今回も香春町を知らなかった人たちに、自然豊かな町の良さを知ってもらう機会となりました。



ムライ ユウキ  
**村井勇輝**隊員 採銅所4区



▲参加者が野草を煮出して作った染料に手ぬぐいを漬け込んでいる場面。手ぬぐいはビー玉とゴムで絞り、黄色と青色に色が出た2種類の染料から選び漬け込みました。

## ～「漆喰 DIY 講座」第二弾 篠栗・城島町協力隊と連携～

前回、香春町で行ったこの講座を篠栗町の実際に飲食店となる現場に舞台を移し、篠栗町と城島町の協力隊と連携し開催しました。

企画・主催を私が行き、建築士を招き実施。実際の店舗を舞台にすることで、そこからの「香春町」の発信も期待できると思います。



▲講師の町谷一成<sup>まちたにかずなり</sup>さんが漆喰とその塗り方を説明している場面。ほとんど素人の参加者で実際の店舗を漆喰で塗りました。



テシマ ジュンヤ  
**手島順也**隊員 下高野1区



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。  
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ  
**濱田雄飛**隊員 本町区

### ～インドネシア人学生と 英語で香春町をまち歩き～

近畿大学の教育プログラムの一環でインドネシア人学生を香春町に招き、リノベーションを行った建物の見学ツアーを行いました。外国人学生が相手ということもあり全て英語での紹介。自身の強みである英語力を使った企画を考案中でのツアー開催で、実際に香春町を英語で歩き回りながら紹介ができ経験値を高めることができました。



▲見学ツアーは、採銅所駅舎を起点に、DIY 講座を行いお試し移住の空間に生まれ変わった「村井邸」、移住者が漆喰を使い改修した「笹原邸」や築100年以上の古民家を改修した「レストランあか鬼」を紹介しました。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！  
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。  
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！  
http://www.facebook.com/iheartkawara

編集 / 香春町地域おこし協力隊  
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408  
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



「くらし」のトークイベント 第1回 9月10日  
ゲスト：伊佐 知美さん

「くらし」のトークイベントの第一回目は「灯台もと暮らし」の編集長である伊佐知美さんを招いて開催しました。移住は旅の延長線上にあると語った伊佐さん。そこに行つて、誰かがいてくれる場所、お茶が飲める場所があること。そして「お帰り」と言つてもらえることが移住に繋がるとも。伊佐さん(女性)が見た地方移住、移住したくなる場所を語り合いました。

# TOMOMI ISA

## 移住×女性

”「もっと心地よく生きられる場所はどこだろう」とロジカル(論理的)に探す女性なんかいない”

旅する編集長  
伊佐知美さんが語った  
少し羨ましい暮らし

「くらし」のトークイベント 第2回 9月24日  
ゲスト：林田 暢明さん



第二回目は、総務省地域力創造アドバイザーである林田暢明さんを招いて開催しました。縁の繋がりがコミュニティを形成すると話す林田さん。今からは「知縁」、知識や趣味をベースにコミュニティが形成して行くとも。彼が福岡市内で設立したカフェ「TAO」を「知縁」を核にコミュニティが形成される事例の一つとして紹介。良い地域の核(中心)の作り方などを語り合いました。

# N. HAYASHIDA

## 核＝縁の繋がり

”「すごい人と知り合いなのではなく、知り合った人がすごい人になっていく”

多くの地域を見た  
林田暢明さんが語った  
コミュニティの核

